

【別紙1】令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
5	棚田を守る保全活動推進事業	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域内外の住民による棚田保全活動の停滞を防止するため、感染症防止に留意し、継続的な活動を支援するもの。</p> <p>② 棚田保全活動推進に係る経費の補助</p> <p>③ 団体に対する補助金 1,000千円 (積算内訳)</p> <p>広報費 134千円 棚田復田整備費 659千円 仮設トイレ設置費 147千円 保険料 60千円</p> <p>④ 棚田法第8条第1項に規定された指定棚田地域振興協議会</p>	1,000,000	1,000,000		<p>○積算内訳(計1,000千円)</p> <p>広報費 134千円</p> <p>・印刷費</p> <p>棚田復田整備費 659千円</p> <p>・消耗品費 201千円</p> <p>・燃料費 67千円</p> <p>・修繕費 52千円</p> <p>・使用料 22千円</p> <p>・原材料費 23千円</p> <p>・資材費 294千円</p> <p>仮設トイレ設置費 147千円</p> <p>・使用料</p> <p>保険料 60千円</p>	<p>成果</p> <p>：新型コロナウイルス感染症の拡大により、時期をうかがいながらの実施となった。比較的感染者が減少している時期に交流イベントを実施したり、対象を県内在住の棚田サポーターズに限定したりと工夫しながら活動を実施した。詳細は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各戸配付「中田の棚田だより」を1年間6地区(吉野、福井、奥佐々、中田、梅本、坂本)で配付。地域内での活動周知に大きく貢献した。 ・2種のポスターを制作し、観光施設へ設置した。 ・再生作業は計41回実施し、延べ約370人が参加した。 ・管理地(貸借農地)約20,000㎡、耕作地約2,000㎡(うち水田は約400㎡)を維持管理した。 ・登録制ボランティア「棚田サポーターズ」20人→28人 ・交流イベントは計6回実施。 ・小川小学校児童を対象に「食と農」の体験として、脱穀、撒き等を実施。 <p>評価</p> <p>：順調に復田作業は進んでおり、熱心な棚サポの参加も見られることから、本補助金の活用により棚田が交流拠点として機能しており、期待できる。</p>	まちづくり課
6	感染症対応プレミアム商品券発行事業	<p>① 感染症により落ち込んだ地域経済の活性化のために町内に事務所を置く中小事業者で使用することができるプレミアム率30%の商品券の発行を行う。10千円で13千円分使用できる商品券を2,000口分発行。</p> <p>② 発行商品券のプレミアム分の補助</p> <p>③ 発行金額 20,000千円×30%</p> <p>④ 住民</p>	5,990,000	5,990,000		<p>プレミアム付加分(発行総額26,000,000円に対する30%) 6,000,000円</p>	<p>発行総額：25,958,000円(うちプレミアム分5,990,000円)</p> <p>飲食宿泊サービス業その他サービス業を中心に使用されている。(全体のうちの67.1%)生活必需品や娯楽として広く活用され、地域経済活性化に寄与されたものと思われる。</p>	産業課
7	コロナ対策経営支援相談員配置事業	<p>① 感染症により影響を受けた事業者からの多岐にわたる経営相談等に対して、専門家を配置する。</p> <p>② 相談員配置に係る費用の1/2</p> <p>③ 相談1回につき27,500円×10回分</p> <p>④ 町内中小企業者</p>	275,000	275,000		<p>275,000円(専門家の配置に係る費用に対する1/2の額)</p>	<p>相談件数10件</p> <p>参加事業者数 25事業者</p> <p>主な相談内容 知的財産権、飲食業DX、インボイス制度、改正食品衛生管理など</p> <p>時代の変革とともに、顧客ニーズが多様化していることから、様々な面からの支援ができたものと思われる。</p>	産業課
9	学校再開のための感染症	<p>① 学校教育継続のため、消毒等の感染症予防や分散教室の実施に係る消耗品や備品の購入を行う。</p> <p>② 感染予防のための消耗品、備品購入費</p> <p>③ 除菌用アルコール等 1,100千円 ハンドソープ・石けん等 670千円 教室・トイレ清掃用具 660千円</p> <p>④ 町内小中学校</p>	2,401,644	2,401,644		<p>除菌用アルコール等 1,083,905円 ハンドソープ・石けん等 662,464円 教室・トイレ清掃用具 655,275円</p>	<p>学校内での児童生徒及び来校者に対する感染拡大防止を図ることができた。</p>	教育課

【別紙1】令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
10	小学校網戸設置事業	① 小川小学校において換気を行うための網戸の設置を行う。 ② 修繕費 ③ 小川小学校 325千円 ④ 小川小学校	324,390	324,390		小川小学校網戸設置工事 ・職員室・音楽室・体育館等の網戸設置 ・324,390円	網戸を設置することで虫等の進入を防ぎ、教室等の換気を行い、児童等の感染対策を行いながら授業ができた。	教育課
11	中学校網戸設置事業	① 野上中学校において換気を行うための網戸の設置を行う。 ② 工事請負費 ③ 野上中学校 407千円 ④ 野上中学校	406,230	406,230		野上中学校網戸設置工事 ・普通教室、特別教室等の網戸設置 ・406,230円	網戸を設置することで虫等の進入を防ぎ、教室等の換気を行い、生徒等の感染対策を行いながら授業ができた。	教育課
12	文化施設の感染症防止対策事業	① 施設利用の安心安全を保持するため感染症対策の消耗品を購入する。 ② 消耗品 ③ 除菌アルコール 304千円 ハンドソープ・手指消毒液 91千円 使い捨てスリッパ 110千円 クロスパーテーション 169千円 ④ 中央公民館、文化センター、みさと天文台 他	648,359	648,359		・ディスペンサー 142,160円 ・トイレマジックリン（ディスペンサー用） 55,500円 ・マイクロホンクリーンシャワー 15,300円 ・アルコールタオル（本体） 82,320円 ・アルコールタオル（詰替え用） 99,000円 ・使い捨てスリッパ2,700足 91,410円 ・クロスパーテーション6枚 144,215円	コロナ禍における事業、活動の休止・縮小が続く中、来館者が多数訪れる施設にアルコール除菌用品等を設置し感染対策を行うことで、利用の際の安心感に繋げることができた。 また、施設管理人による日々の除菌作業も念入りに行うことができ、休館措置をとることなく、利用促進に繋げることができた。	教育課
15	大学生等就学応援給付金事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響により、就学に係る費用の確保が困難となっている紀美野町出身の学生等の就学を支援するために、給付金（1人につき100千円）を支給する。 ② 就学応援給付金 ③ 給付金 100千円×148人 14,800千円 郵便料 84円×149件 13千円 ④ 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学、大学院、短期大学、高等専門学校（第4学年及び第5学年に限る。）又は専門学校に在学する者で、本人又は保護者が本町の区域内に住所を有している者	14,812,516	14,812,516		給付金：14,800,000円（100,000円×148人） 郵便料：12,516円（84円×149件）	令和3年6月から事業の周知を開始し、7月から12月までの6か月間にわたり申請を受け付けた。 周知方法については、交付対象者に幅広く周知する為、「広報きみの」で計4回、「町ホームページ」で毎月（計7回）、また「きみのふるさと事業」の実施に伴い新成人85名あて郵送を行った。その結果、申請時期については7月～9月の3か月で全体の約80%を占めるなど、早い段階で交付対象者への周知が行き届いた。 評価としては、新型コロナウイルス感染症の影響による親の収入減少や学生本人のアルバイト収入減少等、就学に係る費用の確保が困難となっている学生の経済的負担を軽減し、就学支援に繋がったと考えられる。	まちづくり課
16	テレビ会議システム増設事業	① テレワーク及び分室化に対応した仕事改革 ② 機器導入費用（大型モニター、PC等） ③ 大型モニター、PC等 388千円×6セット 2,328千円 ビデオカメラ（2台） 167千円 映像無線装置（3台） 310千円 設定諸経費 144千円 ④ 地方公共団体	2,948,000	2,948,000		大型モニター6台、ノートパソコン6台 マイクスピーカーシステム6台 ビデオカメラ2台、映像無線装置3台	新型コロナウイルス感染症対策として全国的にWeb会議が一般的になっており、テレワーク中の事業者とのWeb会議や県内の市町村で構成される担当者会議、当組織内の出先機関との会議等に活用されています。また、感染症予防のための分室化の際には、システムを利用することで複数拠点間を繋げられることからコミュニケーションを減らすことなく、分室化を実現できており、新型コロナウイルス感染症対策に大きく寄与している。	総務課

【別紙1】令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
17	相談窓口整備事業	① 不特定多数が来庁する福祉センターの改修を行い、3密の回避を図り感染拡大防止策を図る。 ② 改修のための工事費 ③ 工事費 ④ 総合福祉センター 173千円	172,700	172,700		工事費：172,700円	総合福祉センター内の保健福祉課相談窓口をブース型に改修することで、3密の回避が図られ、感染予防、拡大防止に寄与した。	保健福祉課
18	自動追跡検温モニター・自動除菌ディスペンサー整備事業	① 感染症予防のための備品を購入し、環境の整備を行う。 ② 感染予防のための備品購入費 ③ 自動追跡検温モニター・自動除菌ディスペンサー 152.5千円×2個 305千円 ④ 町内こども園	304,480	304,480		自動追跡検温モニター・自動除菌ディスペンサー 152,240円×2台=304,480円	新型コロナウイルス感染症対策として、町内こども園エントランスに自動追跡検温モニター・自動除菌ディスペンサーを設置することにより、園内環境の整備を行った。	保健福祉課
19	製造業設備修繕補助事業	① 感染症の影響を受けた町内事業者の保有する機械設備の修繕等に係る経費の一部を補助することで、経営状況の改善に寄与する。 ② 町内事業者の所有する設備の修理や保守等に係る経費の一部を補助 ③ 25,000千円 商工会事務費等 2,000千円 補助金額 23,000千円 (50万円×46件) ④ 紀美野町商工会	25,000,000	25,000,000		商工会事務費等 2,000千円補助金額 23,	実績額25,000,000円 (うち修繕交付額23,192,000円 事務費1,808,000円) 交付件数63件 主な修繕機械：梱包機、調理機械、裁断機、油圧リフトなどの大型機械設備 業種別申請数：建設業20 小売2 サービス5 製造29 運輸1 卸売1 その他5 製造業者を中心とする工業関係に携わる事業者に対する支援が少ない中で、故障等で使用できなかった機械設備等の修繕支援は事業継続の一助となったと考えられる。	産業課
20	Wi-Fi設置補助事業	① 感染症収束後の観光客誘客及び満足度向上のため、観光事業者におけるWi-Fi環境を整える。 ② Wi-Fi設置にかかる費用の一部を補助(上限100千円)、補助事業実施にかかる事務費 ③ 1,250千円 補助金 100千円×12件 1,200千円 事務費(振込手数料・消耗品等) 50千円 ④ 紀美野町観光協会	806,390	806,390		補助金 紀美野町観光協会：806,390円	14事業者から申請があり、Wi-Fiが設置された。 観光客誘客及び満足度向上に寄与することができた。	産業課
21	キャッシュレス決済還元事業	① 感染症により落ち込んだ観光消費を回復するため、紀美野町への旅行を促すとともに観光事業者に対しキャッシュレス決済導入を促す。さらに、キャッシュレス決済をきっかけに訪れた観光客等に観光カードを配布し、周遊性を高め町内事業者等の認知度向上を行う。 ② ポイント還元キャンペーン(利用額の20%還元)の実施、観光カード作成に係る経費に対する補助 ③ 4,500千円 (ポイント還元2,175千円、運営費・広告費等1,236千円、カード作成費等1,089千円) ④ 紀美野町観光協会	4,500,000	4,500,000		補助金 紀美野町観光協会：4,500,000円	町内事業者へキャッシュレス決済が導入され、接触機会の低減につながった。 ポイント還元キャンペーンにより、観光客増・観光消費増に寄与することができた。 また、観光カードにより紀美野町の認知度向上につながった。	産業課

【別紙1】令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
22	スクールバス等空気清浄機整備事業	① 児童生徒を安全に輸送する為、町有のスクールバス等に空気清浄機の取付を行う。 ② 委託料 ③ 空気清浄機(12台) 1,380千円 ④ 町有マイクロバス、ハイユース	1,379,400	1,379,400		スクールバス等空気清浄機設置業務委託 ・空気清浄機 12台 ・1,379,400円	空気清浄機の設置により、走行時に換気が必要としなくなった為、児童生徒の体調に合わせた効果的な車内空調の使用が実現した。また、児童生徒の輸送に起因する感染が発生していないことから、学校や保護者、運転手等スクールバスの運行に関係する者の安心感に繋がっている。	教育課
23	小中学校電子黒板導入委託事業	① 対面授業を減らすための分室での開催時や休業要請があった場合のオンライン授業や日常の授業運営において、双方向性のあるICT活用を実践する為、各教室へ電子黒板を導入する。 ② 備品購入費 ③ 電子黒板(43台) 40,040千円 ④ 町立各小中学校	40,040,000	40,040,000		紀美野町立小中学校電子黒板導入事業 ・電子黒板 43台 ・40,040千円	電子黒板の導入により、オンライン授業を容易に行えるようになった為、自宅待機を余儀なくされた児童生徒も自宅から授業参加できるよう対応することができた。また、視認性が良いことから、教員研修等も会場で受講する形式と大差なく、オンラインでの参加が容易になった。	教育課
24	図書除菌機購入事業	① 感染予防対策として、図書除菌機を購入する。 ② 備品購入費 ③ 図書除菌機(2台) 2,068千円 ④ 中央公民館図書室、文化センター図書室	2,068,000	2,068,000		書籍除菌機購入事業 ・書籍除菌機2台 ・2,068千円	不特定多数が利用する書籍を除菌することにより、書籍を介した感染に対する不安を払拭し、安心・安全な住民サービスの提供できた。	教育課
25	液晶テレビ等購入事業	① 室内入場制限の中、別室で視聴が可能となる環境を整える為、映像設備を購入する。 ② 備品購入費 ③ 液晶テレビ・ビデオカメラ他機器一式 3,608千円 ④ 文化センター	3,608,000	3,608,000		液晶テレビ等購入事業 ・テレビ4台 ・ハンディビデオカメラ2台 ・サイネージ用パソコン2台他分配器等 ・3,608千円	イベント時の密を避け、別室でも観覧できるようになり、利用者の感染対策ができた。またイベント時以外でも、デジタルサイネージとして利用し、過去のイベントや今後の日程、コロナ対策などの内容を全利用者へ発信することができた。	教育課
26	宇宙・星座図鑑導入事業	① 既存の図書を介した接触感染を避け、インタラクティブ化することで複数人で利用でき、より満足度の高い展示を提供する。 ② 委託料 ③ 非接触型タッチパネル導入委託料 2,161千円 ④ みさと天文台	2,112,000	2,112,000		非接触型パネル導入業務委託 ・2,112千円	非接触型のタッチパネルを導入することにより、接触の機会を減らすことできた。また、コンテンツの更新が容易にできるため、最新のニュースが反映できるなど、利用者に対し従来よりも充実したコンテンツを展示することができた。	教育課
27	生石高原美化・環境整備事業	① ソーシャルディスタンスが取れる場所として観光客が増加傾向にある生石高原の美化・整備を行う。 ② 雑木伐採や遊歩道整備等に係る活動費の補助 ③ 6,000千円 ④ 特定非営利活動法人 生石山の大自然保存会	6,000,000	6,000,000		補助金 特定非営利活動法人 生石山の大自然保存会：6,000,000円	生石高原の美化・整備が行われ、観光客誘致・観光客の満足度向上につながった。	産業課
28	非接触型体温計購入事業	① 集会、イベントにおける感染症対策として非接触型体温計の設置を行うもの。 ② 非接触型体温計購入費 ③ 非接触型体温計(90個) 287千円 ④ 集会所施設及びイベント貸出用	286,704	286,704		非接触型体温計 2,896円×90個×1.10=286,704円	地区集会所での集会時や、各種イベント開催時に参加者の検温に使用することで、新型コロナウイルス感染症対策に活用している。	総務課

【別紙1】令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
29	山の家おいしキャンプ場整備事業	① ソーシャルディスタンスが取りやすく、マイクロツーリズムやアウトドアブームにより予約が増加している山の家おいしキャンプ場の拡大・整備を行う。 ② 設計業務委託費、工事費 ③ 設計2,200千円、工事17,460千円 ④ 山の家おいしキャンプ場	17,472,700	17,472,700		設計委託費：2,200,000円 工事費：15,272,700円	生石高原キャンプ場の拡大・整備を行い、観光客誘致・観光客の満足度向上につながった。	産業課
30	ALT招へい事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響でJETプログラムでの人材確保が現状難しい中での民間業者への派遣を委託する。 ② 委託料 ③ ALT派遣委託費 2,145千円 ALT 1名派遣管理経費等 (労務管理、生活管理、福利厚生及び研修費等) ④ 町内各小中学校	2,145,000	2,145,000		ALT派遣委託費 2,145千円	民間企業からALTを、町内中学校に派遣することができた。	教育課
31	感染症対策サーマルカメラ導入支援事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対して、コロナ禍での事業継続を支援するために、サーマルカメラ設置に係る補助を行う。 ② サーマルカメラ購入費 ③ 10件 1,500千円 ④ 町内に事業所等を有する事業者 基本的対処方針(令和3年9月28日変更) P.40 3(3)3)③、P.41 3(3)4)③	1,500,000	1,500,000		10件 1,500,000円(1件あたり150,000円)	実績額 1,815,000円 交付件数17件 業種別申請数 飲食業3 運輸業4 小売業2 サービス業4 宿泊業1 派遣業1 医療福祉2 主にサービスを主とする事業者に対して補助を行った。コロナ感染症に対する予防措置を強化できたとともに事業継続のための一助となったと考えられる。	産業課
32	飲食宿泊サービス等支援事業	① 新型コロナウイルス感染症の拡大により売上が減少している事業者の下支えをするため、県が実施する「飲食・宿泊・サービス業等支援金」の給付を受けた町内事業者に対し、支援金を給付する。 ② 町内事業所で従事する事業者数に応じた支援金 ③ 100件 15,000千円 ④ 町内に事業所等を有する個人又は法人	15,000,000	15,000,000		100件 15,000千円(1件あたり15万円)	給付件数 94件 業種別申請数 飲食業15 宿泊業6 運送運輸業2 卸売業6 小売業16 サービス業18 製造業 30 その他1 町内事業者の事業継続に寄与したものと思われる。	産業課
33	オートディスペンサー配備事業	① 庁舎及び公共施設における感染症対策としてオートディスペンサー(消毒液自動噴霧器)の設置を行うもの。 ② オートディスペンサー購入費 ③ オートディスペンサー(20個) 583千円 ④ 役場庁舎、支所、保健福祉センター、公共施設等	374,000	374,000		オートディスペンサー 17,000円×20台×1.10=374,000	役場本庁・支所・総合福祉センター等の入口、各施設の会議室の入口等に設置し、来庁者・入室者の手指消毒を促すことにより、新型コロナウイルス感染症対策に活用している。	総務課

【別紙1】令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
34	子育て世帯等臨時特別支援事業費	① 新型コロナウイルス感染症が長期化している中で、子育て世帯を支援するため、国の制度では対象外となる世帯へ給付金を支給する。 ② 給付金及び給付に係る事務費 ③ 20世帯30人、給付金：3,000千円、事務費：5千円 ④ 国制度では対象外となる子育て世帯	2,303,472	2,303,472		郵便料 1,932円 振込手数料 1,540円 給付金 100,000円×23人=2,300,000円	新型コロナウイルス感染症が長期化している中で、国の制度では対象外となる世帯へ町単独事業で給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減することに寄与した。	保健福祉課
35	新生児特別臨時給付金給付事業	① 新型コロナウイルスの感染症の感染拡大により不安を抱える妊産婦やその家族を経済的に応援するため、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれの新生児に給付金11万円を支給する。 ② 給付金及び給付に係る事務費 ③ 25人、給付金：2,750千円、事務費：37千円 ④ 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれの新生児	2,091,512	2,091,512		給付金 110,000円×21人=2,310,000円 郵便料 1,512円	令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた新生児21名の保護者に対し、給付金110,000円を給付することで、新型コロナウイルス感染症拡大によって不安な状況下で新生児を育む世帯の経済的負担を軽減することに寄与した。	保健福祉課
36	みさと天文台感染症防止対策事業	① 3密回避や共有物を減らし、感染症予防対策を講じながら、天文台の観望会を実施していくために必要な備品、消耗品の購入を行うもの。 ② 備品購入費、消耗品費 ③ 望遠鏡 2台 449千円 使い捨てスリッパ 230千円 (4,860人分) ④ みさと天文台	582,615	582,615		物品購入 ・望遠鏡 2台 425,315円 ・使い捨てスリッパ 4,860足 157,300円	利用者の感染対策として、使い捨てスリッパ及び望遠鏡の購入した。うち望遠鏡は、2台導入し同時に観望することができ、滞在時間を減らすことができた。	教育課
37	保育対策総合支援事業費補助金	① 保育施設において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施するため、衛生用品の購入や職員への支援を行うもの。 ② 衛生用品の購入、消毒・清掃等に係る手当の支給 ③ きみのこども園 50万円 こうのこども園 50万円 こすもす保育室 40万円 ④ きみのこども園、こうのこども園、こすもす保育室	400,000	200,000	200,000 (国庫補助金)	きみのこども園 498,103円 こうのこども園 310,003円 こすもす保育室 0円 国1/2補助	町立こども園において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施することができた。こすもす保育室（認可外保育施設）においては、何度か周知したが希望がなかったため実績0となった。	保健福祉課

【別紙 1】 令和 3 年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
38	子ども・子育て支援交付金	① 子育て支援センターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施するため、衛生用品の購入 ② 衛生用品の購入 ③ 除菌用アルコール等 150千円 ハンドソープ・石けん等 150千円 ④ 紀美野町子育て支援センター	297,572	2,888	99,000 (国庫補助金) 99,000 (町一般財源) 96,684 (対象外経費)	除菌用アルコール等 191,400円 ハンドソープ等 106,172円	子育て支援センターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施することができた。	保健福祉課
39	児童福祉事業対策費等補助金	① 虐待防止のため、情報共有システム構築を行う。 ② 情報共有システム構築に係るシステム改修 ③ システム改修費：220千円 ④ 保健福祉課	220,000	110,000	110,000 (国庫補助金)	システム改修費 220,000円	虐待防止のため、当町が導入している福祉相談支援システムと全国統一の要保護児童に関する情報共有システムを連携するためにシステム改修を行った。これにより児童相談所と市町村において、日常的に迅速な情報共有を図る。	保健福祉課
合計			157,470,684	156,866,000	604,684			